

■ Java プログラムで使用する API の説明

<code>java.util</code> <code>public interface List<E></code> リスト（順序付けられたコレクション）のためのインタフェースを提供する。インタフェース <code>Collection</code> を継承する。
メソッド
<code>public void add(int index, E e)</code> 指定された要素をリスト内の指定された位置に挿入する。指定された位置及びその後に既に要素がある場合は、それらの要素をシフトする。 引数： <code>index</code> — 挿入する位置のインデックス <code>e</code> — リストに追加する要素
<code>public E remove(int index)</code> リスト内の指定された位置にある要素を削除する。 引数： <code>index</code> — 返される要素のインデックス 戻り値：リスト内の指定された位置にあった要素
<code>public boolean remove(Object obj)</code> 指定された要素がこのリストにあれば、その最初の要素を削除する。 引数： <code>obj</code> — リストから削除する要素 戻り値：リストから要素が削除されれば <code>true</code> それ以外は <code>false</code>
<code>public boolean isEmpty()</code> リストに要素がなければ <code>true</code> を返す。 戻り値：リストに要素が一つもなければ <code>true</code> それ以外は <code>false</code>
<code>public int size()</code> リスト内の要素数を返す。 戻り値：リスト内の要素数

<code>java.util</code> <code>public class ArrayList<E></code> インタフェース <code>List</code> の配列による実装である。 メソッドの説明は、インタフェース <code>List</code> の項を参照。
コンストラクタ
<code>public ArrayList()</code> 空のリストを作る。

java.lang

public final class System

有用なクラスフィールドやクラスメソッドが定義されている。

メソッド

```
public static void arraycopy(Object src, int srcPos, Object dest,  
                             int destPos, int length)
```

指定された複写元配列の指定位置から、指定された複写先配列の指定位置に配列要素を指定された回数分複写する。引数 `src` と引数 `dest` が同じ配列を参照している場合は、複写元と複写先の領域の重なりを考慮し、複写によるデータの破壊が起こらないようにする。

引数： `src` — 複写元配列

`srcPos` — 複写元配列内の開始位置

`dest` — 複写先配列

`destPos` — 複写先配列内の開始位置

`length` — 複写される配列要素の回数